

子供にツケをまわさない農業政策とは ～環境と農業は生き物の視点から～

「環境会計研究会」in大崎市田尻町

環境に悪い影響を与える者もいれば、良い影響を与える者もいます。環境問題は、誰かが命令しただけで、解決するものではありません。この問題を解決する能力のある者を見出すことが必要です。

環境再生という仕事の価値もまた、結果にあります。生物多様性を測定する「kikyo」という単位を利用することで環境再生に取り組む人の能力を把握することができます。能力のある人に環境再生を任せられるのです。

漠然とした環境破壊の不安に対して、「kikyo」は、環境の状態を測定することで環境再生を任せられた者の能力を明らかにします。外部経済とされてきた環境再生を、市場で取引することが可能になるのです。

日本の農業は、「減反政策」や水田生態系を破壊する「圃場整備」「生き物を殺す農薬の使用」「石油に依存した農業」などを「農水省」や「農協」を中心に国策として推進されてきました。

雁音農産開発有限公司は、宮城県大崎市田尻町の150の農家と共同して、農協に頼らない“生き物と共生する田づくり”を推進しています。そこには「田んぼに生息していたカエルやドジョウが「食」の安全を保証する田づくり」があります。

雁音農産のつくる「雁音米」の田づくりの現場を確認しながら「環境会計研究会」を開催します。



スケジュール

■環境会計研究会 2009年5月24日(日)

- 10:30 開場
- 11:00～11:20 千葉商科大学大学院のご紹介
- 11:20～12:20 「環境再生の誤解と真実」
野口 理佐子
- 12:20～14:50 昼食(「嫁っこ」のおにぎり弁当をご用意します)
現地視察「生き物と共生する田づくり」
小野寺 ひかる
- 14:50～15:50 「これからの農業と政策のありかた」
小野寺 ひかる
- 16:00～16:10 「食の安全は誰が守るか?」
内山 優
- 16:10～17:20 「生き物に聞く環境会計」
吉田 寛
- 17:30～18:00 「子供にツケをまわさないために」
野口理佐子、JTR 日本税制改革協議会
- 18:00 終了
- 18:30～20:30 講師との意見交換会&夕食(ミヤギノポークの豚しゃぶ) ※宿泊者及び希望者

■オプションツアー(希望者のみ) 2009年5月25日(月)

- 8:00～11:00 現地視察「耕畜連携から消費まで」
 - 加護坊山にて地域全景の確認
 - 豚・赤牛の放牧現場(高橋牧場)
 - ハム工場見学(田尻ハム)
 - 酪農の現場(ハートフルランドジャージー牧場)
- 11:00～12:00 ラムサール条約登録湿地「蕪栗沼」視察
(「NPO蕪栗ぬまっこくらぶ」のガイドによる)
- 12:00～13:00 昼食(農家レストラン 蔵桑)
- 13:00～13:30 ロマン館に戻り解散

駅や空港から送迎いたします

※車の手配がありますので、お時間など事前にご相談・ご予約下さい

■5月24日(日)

【お迎え】		【お送り到着予定】(時間は目安ですご注意ください)	
仙台空港	9:40	JR小牛田駅	18:30、20:45
JR古川駅	10:00	JR古川駅	19:00、21:15
JR小牛田駅	10:30	仙台空港	19:20

■5月25日(日)

【お送り到着予定】(時間は目安ですご注意ください)	
JR小牛田駅	14:00
JR古川駅	14:30
仙台空港	14:50